

2015年1月8日

各位

会社名 株式会社 キャンパス
代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己
(コード番号:4575 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 最高財務責任者兼管理部長
加登住 眞(電話 055-954-3666)

『CBS9106 開発に関する Stemline 社とのライセンス契約締結のお知らせ』の補足情報について

CBS9106 の開発パートナー Stemline Therapeutics, Inc. (米国ニューヨーク州、以下「Stemline 社」)は、現地時間 2015年1月7日、同社ウェブサイト <http://www.stemline.com> において、当社が 2014年12月26日付適時開示『CBS9106 開発に関する Stemline 社とのライセンス契約締結のお知らせ』においてお知らせしたライセンス契約締結について、プレスリリースを実施いたしました。

この内容のうち、当社株式への投資判断に影響を与える可能性のある部分について、補足情報としてお知らせいたします。

(英文原文) <http://www.stemline.com/newsArticleDetails.asp?id=102>

Stemline 社は、CBS9106 (SL-801) 開発計画について次のように公表しました。

- ・ 2015 年中の IND 申請(臨床試験実施申請)を予定している。
- ・ 既に臨床試験を進めている SL-401 および SL-701 と並行し、SL-801 についても、複数の戦略的適応癌腫をターゲットとする臨床試験を計画している。

なお同社は、サンフランシスコで開催される第 33 回 J.P.モルガン ヘルスケア・コンファレンスにおいて下記のプレゼンテーションを行うことを公表しています。

◆日時(日本時間) 2015年1月16日 早朝3時(15日27時)～

◆ウェブキャスト <http://www.stemline.com> からご覧いただけます。

このプレゼンテーションにおいて、CBS9106 (SL-801) についても何らかのコメントがなされるものと思われます。

J.P.モルガン ヘルスケア・コンファレンスは、バイオテクノロジー/ヘルスケア関連の投資カンファレンスとして世界的に最も著名かつ重要なイベントです。深夜の時間帯ですが、ぜひご覧ください。

《Stemline 社について》

Stemline 社 (Stemline Therapeutics, Inc.) は、癌幹細胞とその他の癌細胞の双方を標的とする独自のアプローチで抗癌剤開発を行っている、米国 NASDAQ 上場の創薬ベンチャーです。

ティッカー: \$STML サマリー情報 (Yahoo.com) <http://finance.yahoo.com/q?s=STML>

同社の先行化合物 SL-401 および SL-701 は、いずれも臨床第 2 相試験の段階にあり、高い臨床効果を示しています。また、後続パイプラインとして前臨床試験段階の化合物 SL-501 および SL-101 を有しています。

詳細は、同社ウェブサイト <http://www.stemline.com> をご参照ください。

《キャンバスについて》

キャンバスは、細胞周期表現型に着目した独自の創薬プラットフォームと機動的な基礎研究チーム・臨床開発チームを有し、自社創出化合物の新規抗癌剤開発を目指す、創薬ベンチャーです。

今回 Stemline 社とのライセンス契約締結に至った前臨床試験段階の化合物 CBS9106 (SL-801) のほか、非小細胞肺癌と悪性胸膜中皮腫を適応とした臨床第 2 相試験をいずれも終了している先行パイプライン CBP501 についても、製薬企業等とのアライアンスもしくは自社単独での次相臨床開発を目指しています。

CBP501 は、臨床試験結果の解析をきっかけに、既に発見されていたカルモジュリンへの作用により、癌細胞のみならず、「癌微小環境」「癌免疫」「癌幹細胞」に関わる広範な作用を有することが明らかになりつつあります。

以 上